

## 平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	ふるさと振興事業		
(2) 実施団体名	綾部市	(3) 対象地域	綾部市全域
(4) 代表団体名		(5) 推薦団体名	

(6) 実施した取組の内容	取組①	農村都市交流の強化	
	実施主体	綾部市	
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果
		<p>○実施内容：北摂地域での農村都市交流イベント</p> <p>○実施時期：2008.09下旬</p> <p>○実施場所：池田市市民文化会館、豊島野公園</p> <p>○目的：綾部ファンの発掘並びに拡大に資するため、21世紀は農業・農村の時代を据え、「人生を変える・農業・農村～ステージは綾部～」をテーマに大阪府池田市を舞台に農村と都市の交流イベントを開催</p>	<p>○実施内容：北摂地域での農村都市交流イベント</p> <p>○実施時期：2008.09.28(日) 午前11時から午後3時まで</p> <p>○実施場所：池田市市民文化会館、豊島野公園</p> <p>○実施結果：池田市市民文化会館並びに豊島野公園において「人生を変える・農業・農村～ステージは綾部～」をテーマに農村都市交流イベント'08を開催。</p> <p>当日の来場者は、天候にも恵まれ豊島野公園には4,000人が来場。パネルディスカッションには150人が参加。田舎暮らし相談には30名が訪問、うち12名が定住希望者として登録。</p>
		<p>○実施内容：あやべ見学ツアー</p> <p>○実施時期：2008.10～11</p> <p>○実施場所：綾部市内一円</p> <p>○目的：田舎暮らしを望まれる大阪府池田市、豊中市、北摂地域の都市住民を対象に綾部ファン醸成のための田舎暮らし体験を実施する。</p>	<p>○実施内容：あやべ見学ツアー</p> <p>○実施時期：第1回 2008.10.26(日) 午前11時から午後3時まで 第2回 2008.11.29(土)・30(日)</p> <p>○実施場所：綾部市内一円</p> <p>○実施結果：「綾部ファン」の獲得と定住促進を図るため、「あやべ見学ツアー」を開催。</p> <p>第1回(日帰り)参加者：16家族 36人 内容＝石窯パン焼き体験・里山散策・サツマイモ収穫体験・酪農体験</p> <p>第2回(1泊2日)参加者：8家族 21人 内容＝そば打ち体験・グンゼ博物館見学・バターゴルフ体験・あやべ温泉 ミズナ収穫体験・黒谷和紙手漉き体験</p>
		<p>○実施内容：田舎暮らし体験ツアー</p> <p>○実施時期：2008.10～2009.03</p> <p>○実施場所：綾部市内の空き家を利用</p> <p>○目的：定住希望者の積極的な誘導を目的に「あやべ暮らし」の疑似体験を実施する。</p>	<p>○実施内容：田舎暮らし体験ツアー</p> <p>○実施時期：2008.10.01～2009.03.15</p> <p>○実施場所：綾部市内3棟(小呂町、下替地町、八津合町)</p> <p>○実施結果：綾部での暮らしを実際に感じてもらうため、空き家を提供し、田舎暮らし体験を行ってもらった。</p> <p>体験者実績 短期：23組 中期：3組 長期：1組</p>
		<p>○実施内容：水源の里体験村民</p> <p>○実施時期：2008.1～2009.03</p> <p>○実施場所：水源の里集落</p> <p>○目的：農家に宿泊し、農作業、集落の共同作業・行事などをともにしながら交流し、ありのままの農家体験を実施する。</p>	<p>○実施内容：水源の里体験村民</p> <p>○実施時期：2009.01.05～2009.02.28</p> <p>○実施場所：水源の里集落(大唐内、古屋、市志、市之瀬、瀬尾谷)</p> <p>○実施結果：体験日数を1泊2日から6泊7日で綾部市への定住を希望・検討されている方を対象に募集中。1月末現在申込件数6件。</p>
		<p>○実施内容：水源の里PR</p> <p>・水源の里賛歌お披露目発表会 ・水源の里特別番組の制作 ・水源の里特別展</p> <p>○実施場所：綾部市内一円(水源の里集落中心)</p> <p>○目的：</p> <p>・水源の里賛歌＝水源の里をPRするため、水源の里賛歌を制作し、発表会を開催することにより、普及啓発を図る。</p> <p>・特別番組制作＝コミュニティ放送局(FMいかる)において、水源の里5集落の歴史や文化、暮らしなどをラジオ番組で紹介する。</p> <p>・特別展＝水源の里にちなんだ絵画や写真などの作品を公募し、展覧会を開催。水源の里地域の文化に触れ親しむ機会を設ける。</p>	<p>○実施内容：水源の里PR</p> <p>【水源の里賛歌お披露目発表会】</p> <p>○実施場所：綾部市立上林中学校</p> <p>○実施期間：2008.10.09</p> <p>○実施結果：上林中学校生徒による水源の里賛歌の合唱。</p> <p>桂 珍念氏による、水源の里をテーマにした落語の披露。</p> <p>参加者：集落住民など約200人</p> <p>【水源の里特別番組の制作】</p> <p>コミュニティFM局「FMいかる」で、特別番組として2月放送予定。水源の里シリーズとして各集落の歴史、文化、産業、暮らしなどをシリーズで紹介する。VTRも制作し、情報発信・PR資料として活用する。</p> <p>【水源の里特別展】</p> <p>○実施場所：綾部市街地(グンゼ集蔵会館) 水源の里集落内(老富会館)</p> <p>○実施期間：2008.10.31～11.03(集蔵) 2008.11.15～11.16(老富会館)</p> <p>○実施結果：出展数：40作品(内訳：洋画 10点・日本画 12点・書 4点・写真 14点)</p> <p>グンゼ集蔵会館 来場者数：739人 集蔵 来場者数：270人</p>

(6)実施した取組の内容	<b>取組②</b>			
	<b>実施主体</b>	綾部市		
	<b>実施内容、 実施結果</b>	当初提案により予定していた計画	<b>実際の取組内容及びその結果</b>	
		○実施内容：丹波マツタケ再生 ○実施時期：2008.12(講演会) 2009.02(先進地視察) ○実施場所：綾部市I・Tビル ○目的：特産品丹波マツタケの再生に向けて、講演会や先進地視察を実施する。	○実施内容：丹波マツタケ産地再生講演会の開催 ○実施時期：2008.12.22(月) ○実施場所：綾部市林業センター ○実施結果：綾部市におけるマツタケの生産量は昭和58年をピークに年々減少傾向で推移している。このため、市内のマツタケ生産量を増加させ、丹波マツタケの産地としての復興を図るため「マツタケ増産講演会」を開催した。 「演題：マツタケは何故減ったか？ー市民のマツタケ増産・里山再生の取組ー」 まつたけ十字軍運動代表 吉村 文彦 氏 参加者：106人 ※先進地視察については2月中旬実施予定。	
		○実施内容：薪炭林の再生 ○実施時期：2008.11～2009.03 ○実施場所：水源の里集落 ○目的：地域に賑わいを取り戻すため、里山再生作業の参加者を一般から募集。ボランティアによる森林整備作業を実施する。 失われつつある里山を地域内外の人々の協働により再生することを目的とする。 あわせて、野生動物による農作物被害を防止するとともに、森林資源の有効活用を図る。森林整備に伴う伐採木を薪に活用する「薪炭林再生事業」を実施する。	○実施内容：薪炭林の再生 ○実施時期：2008.11～2009.03 ○実施場所：水源の里(市志) 志賀郷町(内久井) ○実施結果：森林整備作業の実施(伐倒、下草刈、薪割、破碎等の作業) ・参加者数 2008.11.29 5名、11.30 2名、2008.12.06 3名、12.07 4名、12.13 11名、12.14 5名、12.20 8名、12.21 5名、12.23 4名 ・平成21年事業計画 2009.01.10・11・12・17・18・24・25・31 2009.02.01・07・08・11・14・15・21・22・28	
		○実施内容：農産・加工品ブランド化(パッケージデザインの検討) ○実施時期：2008.11～2009.02 ○実施場所：綾部市内一円 ○目的：綾部市で生産される農産・加工品のブランド価値を高め、市場競争力を向上させることを目的に、農産・加工品のパッケージデザインに取り組み、有効かつ効率的なPRを実施。	○実施内容：農産・加工品ブランド化(パッケージデザインの検討) ○実施時期：2008.11～2009.02 ○実施場所：綾部市内一円 ○実施結果：広報やコミュニティFMなどを通じて、参加者を募集(期間：2008.11.16～12.12)。結果18個人団体から54品目についてパッケージ制作の希望あり。各個人団体との調整により、デザイン、パッケージ等は2月下旬に完成予定。併せてホームページも2月下旬に完成予定。	
	<b>取組③</b>	<b>定住支援</b>		
	<b>実施主体</b>	綾部市		
	<b>実施内容、 実施結果</b>	当初提案により予定していた計画	<b>実際の取組内容及びその結果</b>	
		○実施内容：あやべ定住サポート事業 ○実施時期：2008.10～2009.03 ○実施場所：綾部市内一円 ○目的：5月に開設した「あやべ定住サポート総合窓口」の充実と「あやべ定住サポート隊」との連携により定住促進を図る。	○実施内容：あやべ定住サポート事業 ○実施時期：2008.10～2009.03 ○実施場所：綾部市内一円 ○実施結果：ホームページの開設による田舎暮らし、定住に関する情報提供 ・定住サポート隊の編成と活動(7月に「あやべ定住サポート隊」を結成) 各行事への参加。田舎暮らし相談等 定住希望者へのサポートを実施。 ※各地域において、空き家や地域活動、農業、用地の確保など定住希望者のニーズに即したサポートを展開。	
○実施内容：空き家物件見学ツアー ○実施時期：2008.11～2009.02(3回計画) ○実施場所：綾部市内一円 ○目的：綾部への定住に関して、空き家利用を検討されている定住希望者に対して、具体的に物件を紹介するツールとして空き家見学会を実施。		○実施内容：空き家物件見学ツアー ○実施時期：第1回 2008.11.16 第2回 2008.12.14 第3回 2009.02.01 ○実施場所：綾部市内一円 ○実施結果：第1回 参加者：40人 見学物件 4棟(坊口町・五津合町・八津合町・睦寄町十水源の里住宅) 第2回 参加者：32人 見学物件 4棟(坊口町・十倉中町・五津合町・八津合町) 第3回 参加者：51人 見学物件 6棟(睦寄町×2・五泉町×2・八津合町・十倉中町)		
○実施内容：水源の里活性化計画策定 ○実施時期：2008.10～2009.02 ○実施場所：水源の里集落 ○目的：水源の里集落(65歳以上の住民が半数を超える地域)を対象にUIターンの受入、産業の開発・育成、都市との交流などをテーマに集落内の活性化計画を策定する。		○実施内容：水源の里活性化計画策定 ○実施時期：2008.10～2009.01 ○実施場所：水源の里集落 ○実施結果：各集落の実情や方向性に沿った活性化計画を策定。 ・水源の里活性化計画策定集落 6集落(釜輪・馬場・瀬尾谷・市野瀬・草壁・大又) ・2月に有識者を招き、講演と来年度以降の取り組みに対するワークショップを開催		
○実施内容：水源の里交流ツアー ○実施時期：2008.11 ○実施場所：水源の里集落 ○目的：水源の里集落をフィールドに都市住民を招き、水源集落の市営住宅見学会や空き家物件の紹介など、集落住民と都市住民との交流を行う。		○実施内容：水源の里交流ツアー ○実施時期：2008.11.23 ○実施場所：水源の里集落 ○実施結果：中上林・奥上林文化祭参加 ・水源の里集落住民との交流会 ・水源の里見学 参加者：19名		

(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		取組の実施を踏まえた反省点	
	<p>○持続可能で自立した集落の再生には、人材や産業の確保を行い活力に満ちた地域にしていく必要がある。</p> <p>取組① ・農村都市交流については、地域のPRにより「あやべファン」を拡大していくため、従来から大きな役割を担ってきた、NPO法人里山ねっと・あやべと連携し、交流事業の強化を図っていく。</p> <p>取組② ・自立した集落形成のため、地域産業や特産物の開発や育成、野菜や農産加工品（1.5次産品）のブランド化の促進など、京都府をはじめJA、各地域等と連携し、自立的な経済基盤を確立する。</p> <p>取組③ ・農村都市交流事業などにより誘導した定住希望者を7月に結成した「あやべ定住サポート隊」や各集落と連携し、各方面からサポートすることにより、定住に結びつくような取り組みを実施。</p>		<p>取組① ・農村都市交流に関する取り組みは「里山ねっと・あやべ」を中心に実施。今年度開設した「あやべ定住サポート総合窓口」や「定住サポート隊」を中心に各地域で取り組み実施。綾部ファンは順調に確保できている。</p> <p>取組② ・森林組合及び京都府、地元集落等と連携し、特産品育成と森林整備に伴う事業を実施。・農産物・農産加工品等のブランド化を促進するため、市内の生産グループ等に呼びかけ、統一ブランド化を図った。</p> <p>取組③ ・「あやべ定住サポート総合窓口」を中心に定住支援を実施。希望者のニーズは様々であり、サポート隊や市の関係課（農林課・水源の里振興課など）、京都府、積極的に取り組みを展開している集落と連携し対応。</p>	
(8)取組により得られた成果	○成果1→ 綾部市は京阪神地域から1.5時間圏内の優れたアクセス条件を備えている。この有利な地理的条件を活かして、都市農村交流を強化する。			
	H19		H20(当初予定していた目標)	
	年間交流人口2500人	定住希望者リスト500人	年間交流人口5000人	定住希望者リスト1000人
	H20(実際に得られた成果)			
	年間交流人口 6,170人 定住希望者リスト 380人 (定住希望者リストについては、過去10数年間からの蓄積であったため、密度の濃いデータ収集を行うため今年度リセットし、0からのスタートとしました。)			
	○成果2→ 就農などに関しての技術的支援により経済的な裏づけを担保できる地域定住を実現。さらに、特産品開発やブランド化を推進し、自立的な経済基盤を強化する。			
H19		H20(当初予定していた目標)		
個別、単独での取り組み		農産物や1.5次産品のブランド化、森林資源を活用した産業化などの実験事業を通じ、経済基盤強化に努める。		
H20(実際に得られた成果)				
・農産加工品のブランド価値を高めるため、統一ブランドパッケージのデザイン開発に着手。併せて、ホームページやパネルなどによるPRを実施。 ・広報やコミュニティFMなどを通じて、参加者を募集(期間:2008.11.16～12.12)。結果18個人団体から54品目についてパッケージ制作の希望あり。各個人団体との調整により、デザイン、パッケージ等は2月下旬に完成予定。併せてホームページも2月下旬に完成予定。				
○成果3→ 10年前の調査結果によると綾部市内には約900棟の空き家が存在する。これを地域資源と位置付け、空き家の流動化による総合的な定住支援を展開する。				
H19		H20(当初予定していた目標)		
空き家登録者の定住年間2.8世帯		空き家登録者の定住年間20世帯 定住総合窓口の設置		
H20(実際に得られた成果)				
・定住実践者 6世帯(22人) ・あやべ定住サポート総合窓口開設(定住サポート総合窓口ホームページの開設) ・定住サポート総合窓口相談人数 380人				
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	<p>・地方の元気再生事業に採択されたことで、水源の里(いわゆる限界集落)の活性化策や交流から定住に向けた体制・施策の大幅な進展を図ることができた。</p> <p>・(8)取り組みにより得られた成果に記述したとおり、①農村都市交流、②自立的な経済基盤強化、③定住支援の各分野で掲げた目標は達成の見込み。 ・中でも定住対策に関しての一連の空き家を活用した事業への反響は大変大きいものがあった。今後の空き家活用に向けて、持ち主、地域、都市住民のニーズの方向性(妥結点)などのノウハウを蓄積する。</p>			
(10)平成21年度以降の活動の見込み	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開		今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度	
	①農村都市交流 北摂地域で実施した交流活動の範囲・規模を見直し、さらに大きな効果を発揮することのできる交流手法を検討し、実施する(交流人口の拡大と綾部ファンの確保・育成)		・農村都市交流(池田市)は、来場者数も4,000人を超え、また、フォーラムも大盛況のうちに終了することができた。また、綾部市への誘導事業も実施でき「あやべファン」の拡大が図れた。 →「あやべファン」の拡大を図るために開催内容や開催時期、開催場所等検討し継続的に実施していく。 [活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続を希望(想定金額 6,665千円)]	
	②自立的な経済基盤の強化 薪炭林の整備とマツタケ再生に加え、市内NPO法人が行う、各種の就農体験や農業改良普及所や府立農業大学校が開設する農業技術講座などとの連携により、農村生活を技術的・経済的に支える活動を展開する		・自立的な経済基盤の確保と強化ため、薪炭林再生事業並びに丹波マツタケ再生事業を実施した。悪化する経済情勢の中、農村地域の活性化や就労の場の確保等は地元住民並びに定住希望者にとっても重要な課題である。 →農村地域での産業育成、経済基盤の強化を図っていく上で、薪炭林の再生事業を実施していく。 [活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続を希望(想定金額 1,046千円)]	
③定住支援 総合窓口が集まった情報を一元管理するとともに、関係機関が共有することで定住希望者のニーズに沿ったきめの細かい体制を整備する。当面の目標は市内に約900棟存在する空き家の流動化と定住の促進に努める(空き家の流動化実績の拡大)。		・総合窓口、水源の里、農村都市交流などを通じて希望者のリストの一元化を図り、あらゆる定住施策の情報提供並びに定住サポートを実施してきた。その中で、市内に眠る空き家の流動化を図るため、空き家調査を実施したが物件の確保が容易でない。このため、地元集落との連携を強化し、流動化する空き家を具体的に発掘していくことが課題である。 →地元集落に眠る空き家の流動化をはじめ、地域の活性化を図る上で更なる連携が必要である。対象集落の意識喚起を行い、また、定住希望者への支援の面からも活性化計画の策定、空き家見学会の開催などの事業を実施していく。 [活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続を希望(想定金額 2,605千円)]		

## ◆主な実施取組の内容◆

### 取組①：農村と市交流の強化

◆最終目標を綾部市への定住として位置づける中で、「綾部ファン」を発掘・確保するための農村都市交流事業を実施。

—実施内容・結果—

#### ●農村都市交流イベント

2008.09.28(日) 於:池田市

来場者数 フォーラム150人 イベント会場 4,000人

#### ●綾部見学ツアー

第1回 2008.10.26(日) 参加者数:36人

第2回 2008.11.29(土)~30(日) 参加者数:21人

#### ●田舎暮らし疑似体験

使用期間:2008.10.01~2009.03.15

体験物件:3棟(小呂町、下替地町、八津合町)

体験コース:短期コース=1泊2日程度 23組

中期コース=1週間程度 3組

長期コース=1か月程度 1組

(2009.01末現在)

#### ●水源の里PR

・水源の里賛歌発表会 2008.10.09(木)

於:綾部市立上林中学校 参加者:200人

・水源の里特別展

於:ゲンゼ集蔵 2008.10.31(金)~11.03(祝)

来場者数 739人

於:老富会館 2008.11.15(土)~11.16(日)

来場者数 270人

### 取組②：自立的な経済基盤の強化

◆地域コミュニティ活動の衰退、活力の低下、担い手不足による産業減退が危惧される中、市内地域産業の自立的な経済基盤の強化を図るため各事業を実施。

—実施内容・結果—

#### ●丹波マツタケ再生事業

・講演会 於:綾部市林業センター 2008.12.22(月)

「演題:マツタケは何故減ったか？」

—市民のマツタケ増産・里山再生の取組—

まつたけ十字軍運動代表 吉村 文彦 氏

参加者数:106人

・先進地視察の実施 2月中旬

#### ●薪炭林再生事業

於:綾部市五泉町

(市志)

内久井町

計22回の

森林整備作業を予定



#### ●農産加工品ブランド化事業

参加者募集:2008.11.16(日)~12.12(金)

申込数:18 (54品目)

### 取組③：定住支援

◆過疎高齢化による活力減退(持続艱難)集落が拡大する中で、綾部市への定住希望者のニーズに沿ったきめの細かいサポートから定住へ。

—実施内容・結果—

#### ●水源の里交流ツアー

於:水源の里集落

2008.11.23(日)

水源の里住宅見学会、

交流会の実施

参加者:19人



#### ●空き家物件見学会 空きや物件の見学と 定住相談

・第1回

2008.11.16(日)

参加者 40人

・第2回

2008.12.14(日)

参加者 32人

・第3回

2009.02.01(日)

参加者 51人



## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

### 【20年度の取組成果】

・地方の元気再生事業に採択されたことで、水源の里(いわゆる限界集落)の活性化策や交流から定住に向けた体制・施策の大幅な進展を図ることができた。

・①農村都市交流、②自主的な経済基盤強化、③定住支援の各分野で掲げた目標をそれぞれ達成することができる見込みとなっており、中でも定住対策に関しての一連の空き家を活用した事業への反響は大変大きいものがあった。あわせて、今後の空き家活用に向けて、持ち主、地域、都市住民のニーズの方向性(妥結点)などのノウハウを蓄積することができたことは大きな成果であった。

### 【21年度以降の展開】

・農村都市交流を継続して実施することにより、「あやべファン」の拡大を図っていく。

・経済基盤の強化を図っていく上で、薪炭林の再生事業を継続実施し、農村地域の産業育成を図っていく。

・各集落に眠る空き家の流動化をはじめ、地域の活性化を図る上で更なる地元集落との連携が必要である。対象集落の意識喚起を行う上でも、定住希望者への支援の面からも、活性化計画の策定、空き家見学会の開催などの事業を実施していく。